

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

JAMシニアクラブ

第191号

発行日 2023年11月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389



退職者連合

「健康保険証廃止の撤回 を求める団体署名」 厚生労働省、及びデジ タル庁に手交へ

各地方シニアクラブ及び
単組シニア組織にご協力を
いただき、「2024年秋
に予定される健康保険証廃
止の撤回を求める団体署名」
は11月7日、衆議院第一議
員会館において、日本退職
者連合から厚生労働省とデ
ジタル庁に対して手交され
ました。

冒頭、退職者連合の人見
会長から「多くの高齢者が
不安に感じている健康保険
証廃止について撤回してい
ただきたい」と要請し、デ

いざれも、従来の主張の
繰り返しでしたが、現行保
険証の廃止撤回という我々
の熱い思いは十分伝えるこ
とが出来たものと思います。
今後は国会における野党
の「廃止」撤回に向けた具
体的行動を支援していくこ
とが求められます。

厚生労働省竹内保険局医
療介護政策課長から「日本
全体でDX化をすすめていく
上で、多くの人にマイナ保
険証の普及をしていきたい」
来年秋の保険証廃止につ
いては、国民の不安払拭が
前提であるので、そのため
の総点検を実施している。
マイナ保険証を取得してい
ない人には現行保険証の代
わりに「資格確認証」を發
行するので問題ない。

しかし、マイナ保険証に
ついて不安に思っている人
が多いことは認識している
ので、受け取った団体署名
については重く受け止め対
応させていただくとの説
明がされました。

またデジタル庁の上田参
事官からは「マイナ保険証
は、あくまで任意で申請し
ていい。保険診療に不備
があつてはならないので、
取得時には本人確認をしつ
かり行き支障のないよう
に実施していく」との説明で
した。



滋賀 結成20周年の 定期総会を開催 山元明事務局長

JAM滋賀シニアクラブは、
10月28日（土）10時～第21回
定期総会、11時30分～結成20
周年記念レセプションを「ク
サツエストピアホテル」で開
催しました。

2003年6月10日に産声
をあげ、2023年6月10日
で結成20年を迎える事となり
ました。この間、滋賀のシニ
アクラブを支えた多くの役員
(同志)、会員始めシニアク
ラブ本部や全国のシニアクラ
ブの皆さん、滋賀においては、
滋賀退職者連合、事業団体、
現役単組等、多くの支えあつ
ての20年間だったと思います。
改めて感謝申し上げます。

2016年10月から現会長
の居原田会長から事務局を預
り今回を迎えて20年を振り返
る機会に恵まれた事に感謝して
いていい。保険診療に不備
が取れても、従来の主張の
繰り返しでしたが、現行保
険証の廃止撤回という我々
の熱い思いは十分伝えるこ
とが出来たものと思います。
今後は国会における野党
の「廃止」撤回に向けた具
体的行動を支援していくこ
とが求められます。

神奈川 定期総会を開催 加藤照雄事務局長

JAM神奈川シニアクラブ
は10月20日（金）、横浜市新杉
田の神奈川県労働文化センター
で、第23回定期総会を開催し
ました。来賓、シニア役員、
代議員合わせて50名の参加と
なりました。

総会では大山JAMシニア
会長、鈴木神奈川シニア連合
会長の挨拶を頂き、2023
年度活動報告・決算報告、2
024年度活動方針・予算案・
役員が決定され、2年後の参
議院議員選挙に向けて「郡山



総会後は、懇親会を開催
し久しぶりに会った仲間と
の談笑が続き、楽しく親睦
を深めました。

ます。組織の現勢ですが、結
成当初は48名、2013年の
72名がMAXで現在53名となっ
ています。

年間活動は、グランドゴル
フ大会や観劇はじめ琵琶湖一
周電車の旅など、その都度の
幹事会で決定してきました。

今回、記念誌パンフ作成時に
多くの写真を見させて頂き、
今は亡き仲間とのひと時を思
い出し、改めてご冥福を祈る
と共に当時のシーンが走馬灯
のように日々を過ごす事と思い
ます。

JAMシニアクラブの理念
「生きがい」「自立」「相互
扶助」「社会参加」を永遠の
テーマとして、時代に引き継
ぐことが出来るよう日々邁進
していきたいと思います。

JAMシニアクラブの活動に
困っている人、社会的に
弱い立場にある人々に、子
ども食堂や困窮世帯に無償
で提供し「食のセーフティー
ネットを目指す」活動に対
し協力することを確認しま
した。最後に、飯田会長の
発声による「団結ガンバロー」
で締めました。

あり、会員の高齢化や、現
役組織の他県への移動によ
り、3シニア組織が退会さ
れ、組織人員の確保がや
つとという状況となりました。

今年度は、現役組織の3分
の2が未加入の状況を改善
すべく、現役役員の力を借
りて組織拡大活動を行う事
を決めました。

神奈川シニア連合から要
請された「フードバンク」
を決めました。

3年間の活動プランも
りょう」氏の推薦が決めら
れました。

埼玉

定期総会を開催
小泉茂事務局長



JAM埼玉シニアクラブは10月28日（土）14時からJA C K大宮「東天紅」にて役員、会員合わせて33名で第23回定期総会を開催しました。来賓にはJAM北関東埼玉県連・今井会長、JA Mシニアクラブ大野事務局長、埼玉シニア連合橋詰会長の3氏に同席を頂き、ご祝辞を頂戴いたしました。

総会は報告事項が承認され、今年度喜寿の会員10名に祝い金が贈られました。続いて審議事項が提案され、第1号議案から第4号議案、郡山りょうの推薦など全ての議案が満場一致で承認されました。

その後、本期で退任される4名の表彰を行い、那珂会長より金一封が贈呈され、閉会後の懇親会は和気あいあいと賑やかに進み、終了しました。

その後、本期で退任される4名の表彰を行い、那珂会長より金一封が贈呈され、閉会後の懇親会は和気あいあいと賑やかに進み、終了しました。

JAM富山シニアクラブは、10月28日（土）ボルファートとやまで「第24回定期総会」を開催し42名が参加しました。

尾島宗一事務局長から2024年度活動方針の提案があり、60歳以降多くの組合員が引き続き就業することにより、各単組のシニアクラブの会員数の減少が続いていることが課題となっており、会員拡大への取り組みを粘り強く推進し、知恵と工夫で活動を盛り上げながら厳しい状況を乗り越えていくことが確認されました。

最後に、鈴木光男代表幹事の発声で、2025年に実施される参議院議員選挙・比例代表選挙の組織内候補予定者「郡山りょう」氏の議席獲得に向けて、「団結ガンバロー」を誓いました。

富山

定期総会を開催
山田尚利副事務局長

**新潟**

定期総会を開催
櫻井竜義事務局次長

JAM新潟シニアクラブは9月25日（月）、第22回定期総会を、長岡市魚藤にて、シニア12組織、現役4単組、合わせて41名が参加して、新型ウイルスが5類になり4年ぶり対面形式で開催されました。

冒頭、2025年実施される参議院議員選挙JAM組織内候補予定者、郡山りょう氏よりWEBから挨拶と支援のお願いが述べられた。その後、来賓のJAMシニアクラブ、田中久弥副会長よりあいさつを頂きました。

総会では、3名の役員が交代となり、それぞれ功労表彰を受賞しました。新会長には、西片徳栄氏（コロナOB会）が選出されました。翌日には野外交流会を盛大に開催し、合わせて2日間にかけて大小盛り上がりました。

JAM岐阜シニアクラブは、新型コロナ感染症の5類移行に伴い規模を縮小することなく、10月28日（土）ワープラザ岐阜5階大ホールにて、代議員25名、役員12名、ご来賓6名の方に参加を頂き第23回総会を開催しました。

岩田会長の開会挨拶後、議長に小山昭久氏（岐阜精機労組OB会）を選出し、長澤会長の挨拶後、ご来賓のJAMシニア本部大山会長、JAM愛知シニア吉田会長、JAM東海大宮副委員長の3名の方にご挨拶を頂き、2023年度の活動報告、決算報告、会計監査報告と2024年度の運動方針案、予算案、政策実現取組み、会員登録人員及び会費納入、規約改定の審議、

岐阜

定期総会を開催
井亦廣幸事務局長

JAM岐阜シニアクラブは9月25日（月）、第22回定期総会を、長岡市魚藤にて、シニア12組織、現役4単組、合わせて41名が参加して、新型ウイルスが5類になり4年ぶり対面形式で開催されました。

冒頭、2025年実施される参議院議員選挙JAM組織内候補予定者、郡山りょう氏よりWEBから挨拶と支援のお願いが述べられた。その後、来賓のJAMシニアクラブ、田中久弥副会長よりあいさつを頂きました。

総会では、3名の役員が交代となり、それぞれ功労表彰を受賞しました。新会長には、西片徳栄氏（コロナOB会）が選出されました。翌日には野外交流会を盛大に開催し、合わせて2日間にかけて大小盛り上がりました。

JAM岐阜シニアクラブは、新型コロナ感染症の5類移行に伴い規模を縮小することなく、10月28日（土）ワープラザ岐阜5階大ホールにて、代議員25名、役員12名、ご来賓6名の方に参加を頂き第23回総会を開催しました。

岩田会長の開会挨拶後、議長に小山昭久氏（岐阜精機労組OB会）を選出し、長澤会長の挨拶後、ご来賓のJAMシニア本部大山会長、JAM愛知シニア吉田会長、JAM東海大宮副委員長の3名の方にご挨拶を頂き、2023年度の活動報告、決算報告、会計監査報告と2024年度の運動方針案、予算案、政策実現取組み、会員登録人員及び会費納入、規約改定の審議、

京都

定期総会を開催
秋の交流行事、囲碁・将棋大会開催

任期満了に伴う24・25年度役員選出を行いました。

提案された2024年度具体的活動は次のとおりです。

1. JAM岐阜シニアクラブ仲間を増やすために、現役の皆さん之力を頂きながら進めて行く。

2. 政策・制度要求の取組みでは、年金・医療・介護等、社会保障制度の課題について、JAMシニア本部の取組みについて理解を深めながら進めて行く。

3. 仲間の皆さんに少しでも活動を知つて頂きたために、機関誌「すこやか」（年6回）、本部通信員（年2回以上）を発行して情報交換をして行く。

4. 年間に以下のような活動を行い交流と情報交換を深めて行く。①ウォーキング、②研修会、③グランドゴルフ、④ボウリング、⑤その他。

活動方針と2024年度予算が満場一致で可決承認されました。

退任役員表彰では、15年間JAM岐阜シニアクラブ発展にご尽力頂いた傍島征夫さんを表彰し、原田副委員長の閉会挨拶で閉幕しました。

新たな年度がスタートし

て一ヶ月が経過した10月11日（水）京都労働者総合会館の会議室を借用し、秋の会員交流行事「囲碁・将棋大会」を開催しました。

囲碁は3名、将棋は7名の参加。コロナとインフルエンザのダブルパンチと会員各位の高齢化の波は避けられず参加者は年々少なくなり、参加者が多かつた頃は段位によって2クラスに分けていた対戦も1クラスの混合戦となつたが、常連の皆さんは以前と変わらぬ元気な様子で対戦に臨みました。昼食をはさんだ熱戦の結果、囲碁は正田博司さん（島津）、将棋は磯谷弘之さん（島津）が優勝されました。

戦の結果、囲碁は正田博司さん（島津）、将棋は磯谷弘之さん（島津）が優勝されました。

日頃囲碁、将棋に親しまれている常連の皆さんだが、大会形式での対戦は「緊張感と闘争心が味わえる」とのこと、今後の継続を希望されました。

JAM岐阜シニアクラブ第20回定期総会・将棋大会